

## 「本当にゆるされるのか!？」(中心130:4)

### 序 人生は旅人

- ・私たちの人生は「旅人」。トラブルの連続の毎日。

#### I ゆるしを求めて出発しよう!(1節)

- ・たとえ罪の苦しみや、背いた後ろめたさがあっても、ゆるしを求めて神に近づく者は幸いです。呼べば答えて下さる事を信じて主を呼び求める者に主は答えて下さる。

★都上りは、赦しの確信があるから出発できる!(1節)

#### II 神の目は、不義に目を留めない!(3節)

- ・神の目は悔い改める心、砕かれた魂に目を留めて下さる。ゆるされ、救われて、新たな歩みをしている姿に目を留めておられる。不義を行っていた私たちに目を留めない。

★神の目は、不義に目を留めない(3節)

……あなたの目(ご自分の目)はどこに向けられていますか?

- ・自分の失敗したこと!
- ・相手の欠点に?
- ・サタンは私たちを攻撃する。滅ぼすために、「失敗」「欠点」を見つめさせる。

#### III 主を待ち望め!(5、6、7、131:3)

- ・主には恵みがあり、ゆるしがある。自分の失敗で悲しみ、自分の事ばかり見つめて悲しむなら絶望感を増すばかり。主を待ち望め!主の赦しの御言葉を待ち望め!主にゆるしがある。
  - ・人の欠点に目を向けるなら、批判が出て来る。
  - ・5～6「私は」主を待ち望みます=私的な姿勢。
  - ・7～8「イスラエルよ」。主を待て=公的な証しの姿勢
- ★一人の巡礼者が主を求めて都に上り行くのですが、やがて集団となり、イスラエルの民全体となって主を待ち望む。そのイスラエルの民に主は恵み、贖いを与えて下さる。
- ・伝道は説得すると言うより「感染」と言われます。感染して身近な方にうつる。

### 結 赦しの神を待ち望め!

- ・130:4 しかし、あなたが赦して下さるからこそ……直訳「あなたには、ゆるしがある」  
あなたは人に恐れられます。本当にゆるして下さる御方は神様ご自身です。